

平成 27 年 8 月 19 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 新 日 本 科 学
代表者名 代表取締役会長兼社長 永田 良一
(コード番号：2395 東証第一部)
問合せ先 代表取締役副社長 関 利彦
(TEL：099-294-3389)

関連会社 WaVe Life Sciences Pte. Ltd. の第三者割当増資に関するお知らせ

株式会社新日本科学（以下「新日本科学」）が設立し、経営を支援しておりました核酸医薬ベンチャー関連会社（持分法適用会社）の WaVe Life Sciences Pte. Ltd.（所在地：シンガポール、以下「WaVe」）は、この度、Foresite Capital¹⁾、Fidelity Management and Research Company²⁾、RA Capital Management³⁾等を引受先とする US\$66 百万ドルの第三者割当増資（シリーズ B）を実施しましたので、お知らせいたします。

記

1. 本件の経緯

新日本科学は、基幹事業である医薬品の研究開発受託事業（CRO 事業）に加えて、知財により収益を上げていく研究開発型のトランスレーショナルリサーチ事業（TR 事業）⁴⁾にも注力しており、その一環として、核酸医薬領域のプラットフォーム技術を保有する WaVe⁵⁾を設立し、経営支援してまいりました。WaVe は、昨年から今年 1 月にかけて、それまでに培った技術と研究成果を基に、更なる企業価値の向上を図るため、専門性を持った最高経営責任者（CEO）⁶⁾を採用し、鹿児島銀行等の出資により設立されたかごしま新産業創生投資事業有限責任組合⁷⁾より US\$7.4 百万の出資並びに米国（マサチューセッツ州ボストン）を拠点にライフサイエンス系ベンチャー企業を非上場から上場後まで継続的に支援するクロスオーバーファンドの RA Capital より US\$10 百万の出資がそれぞれ実施され、第三者割当増資（シリーズ A）による外部資金（計 US\$17.4 百万）を調達しました。

今般、WaVe が保有する核酸医薬に関わるプラットフォーム技術とパイプラインの整備を含む研究開発活動並びに研究スタッフを中心とする経営陣の拡充が、前回のシリーズ A ラウンド時の 5 倍の価値に相当する株式時価総額（Pre-Money）US\$204 百万（1 株当たり US\$50）にて高く評価され、世界最大手の投資信託の一つである Fidelity Management and Research Company、ライフサイエンス系クロスオーバーファンドである Foresite Capital 及び RA Capital Management³⁾など上場企業を含めた企業に対し中長期的に継続した投資を行う大手機関投資家を中心に合計 US\$66 百万の第三者割当増資（シリーズ B）が完了しました。

新日本科学は、WaVe が今回調達した資金並びに RA Capital Management、Foresite Capital などの米国バイオ市場におけるネットワークを活用して、WaVe の開発プロジェクトの充実と加速化を促進するために受託サービス面における支援を行い、同社の更なる企業価値の向上に寄与するとともに、株主としての経営支援を継続してまいります。

2. WaVe の概要

(1) 商 号	WaVe Life Sciences Pte. Ltd.
(2) 本 社 所 在 地	8 Cross Street #10-00 PwC Building, Singapore
(3) 代表者の役職・氏名	President and CEO, Paul Bolno

3. 今回の第三者割当増資の概要

(1) 払 込 期 日	平成 27 年 8 月 17 日
(2) 発 行 新 株 式 数	優先株式 1,320,000 株
(3) 発 行 価 格	1 株につき US\$50 -

(4)発行総額	US\$66,000,000 -
(5)割当先	Foresite Capital Fidelity Management and Research Company RA Capital Management New Leaf Venture Partners Redmile Group Jennison Associates Cormorant Asset Management Clough Capital Partners L.P. Leerink Partners LLC SNBL USA, Ltd. かごしま新産業創生投資事業有限責任組合

4.業績に与える影響

今回の第三者割当増資において、持分変動損益は発生しない見込みです。なお、本件が当社グループの業績に及ぼす影響につきましては現時点では軽微であると考えております。

以上

1) Foresite Capital:米国カリフォルニア州サンフランシスコを拠点に、将来有望な研究・技術シーズを保有するライフサイエンス/ヘルスケア系の非上場及び上場企業への投資・経営支援を行っている機関投資家です。同社が投資している上場株式の時価総額は、2015年3月末時点でUS\$169百万です。

2)Fidelity Management and Research Company：総資産2兆ドルを保有する世界最大手の投資信託です。

3) RA Capital Management：米国マサチューセッツ州ボストンを拠点に、将来有望な研究・技術シーズを保有するライフサイエンス/ヘルスケア系の非上場及び上場企業への投資・経営支援を行っている機関投資家です。同社が投資している上場株式の時価総額は、2015年3月末時点でUS\$1,007百万です。

4)トランスレーショナルリサーチ事業：医療にかかわる基礎研究成果を実用化させる事業のことです。新日本科学では、1998年以来、自社が有する前臨床試験施設や臨床試験施設を活用して、基礎技術の付加価値や開発ステージを高めて、製薬企業等へのライセンス導出を行うことを目的とした事業であるトランスレーショナルリサーチ事業（TR事業）に注力しています。

5)核酸医薬とWaVeの技術：核酸は主に遺伝情報をつかさどる物質として、地球上のほぼ全ての生物が有する生体高分子で、構造や機能の異なるDNAやRNAなどがあります。核酸医薬はヒトの疾患の治療を幅広く根本的に変えることが約束されている次世代医薬品として急速に拡大している分野です。しかしながら、核酸医薬はたくさんの異なる立体の混合物として用いられてきたため、その可能性を最大限に引き出すことは出来ていませんでした。

WaVeは立体を制御し、単一の化合物とすることで、圧倒的に優れた薬効を示すことを明らかにしており、立体設計、合成法を開発し、この優れた核酸医薬を広い範囲の疾患に適応するために開発を続けてきました。WaVeの技術は、アンチセンス核酸、siRNA、mRNA、そしてmicroRNAといった現在開発中の主要な核酸医薬の全てに適用可能であり、核酸医薬の潜在能力を最大限に引き出す可能性を持っているため、この分野に広く深い影響を与えることを期待しています。

一方、ホスホロチオエート骨格を含む、従来のアンチセンス薬は50万以上の異なる成分を有する医薬品混合物であり、ヒトではそれぞれ生理活性が異なります。WaVeのホスホロチオエートの立体

を自由に制御出来る技術は、薬物動態の制御や最適な治療法に応じるテーラーメイド医薬を設計することが出来ます。また、この技術は、mRNA 上の意図した場所で mRNA を切断することが可能であり、アレルとして知られている特定疾患の遺伝子変異をターゲットとすることが可能にしました。この結果、今までアンメット・メディカル・ニーズであった遺伝子疾患を対象にすることが可能になり、これまでの治療法では非常に困難であったターゲットを治療対象にすることが出来るようになりました。また、WaVe の技術は、製薬企業各社が開発している核酸医薬に改良を加えることも可能であります。

⁶⁾CEO 略歴：Paul Benjamin Bolno (医師、経営学修士)

アメリカの医学部出身の医師で、臨床並びに医学研究を経て、ベンチャーキャピタル (Two River Group Holdings) でライフサイエンス部門の事業投資を経験し、その後、グラクソスミスクライン社 (GSK) で、がん領域の事業開発責任者およびアジア部門の事業開発責任者を歴任しています。

⁷⁾かごしま新産業創生投資事業有限責任組合：概要は下記。

(1)名 称	かごしま新産業創生ファンド
(2)フ ァ ン ド 総 額	約 26 億円
(3)出 資 者	鹿児島県内企業等
(4)ファンド設立形態	投資事業有限責任組合
(5)無限責任組合員	鹿児島ディベロップメント株式会社
(6)投 資 対 象	将来有望な研究・技術シーズを保有する大学、研究機関、企業等 の研究者、事業者